

MUJI 無印良品

ステンレス保温保冷ボトル

取扱説明書 (家庭用)

お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

そして、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

- ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。
- 商品に破損やガタツキ等がないか、安全を確認してから使用してください。
- 品質には万全を期していますが、万一不具合があった場合は、使用しないで、購入店、またはお客様相談室(8ページ)まで連絡してください。
- 初めてご使用する前に食器用中性洗剤をつけたスポンジでよく洗浄し、流水でよくすすいで水気を拭き取り、乾燥させてください。

ご注意とお願い

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくご使用いただくために、誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

⚠ 警告	死亡、または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	⚠ 注意	軽傷、または物的損害を負うおそれがある内容を示しています。
------	-----------------------------	------	-------------------------------

■図記号について

🚫 禁止	してはいけない内容(禁止)を表しています。	📌 必ずおこなう	必ずお守りいただく内容を表しています。
------	-----------------------	----------	---------------------

使用上の注意

⚠ 警告

- ① 乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、お子様のいたすらには十分ご注意ください。ヤケドの原因となります。
- ② 自動車の運転中は使用しないでください。
(ヤケドをしたり、車内や衣服を汚す原因となります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。)
- ③ 熱い飲み物を入れた直後、本体を振らないでください。内圧が急に上がり蓋が開けにくくなったり、開ける時、音がる場合があります。
- ④ 熱い飲み物を入れ、長時間保温放置すると、内部が減圧され蓋が開けにくくなったり、開ける時、音がる場合があります。
- ⑤ ご使用の際には必ずパッキンを正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと中身が漏れたり、パッキンの脱落・誤飲の原因となります。

⚠ 注意

- ① 次の物は絶対に入れないでください。
 - ・ドライアイス、炭酸飲料(内圧が上がって蓋が開かなくなったり、飲み物が吹き出したり、蓋が飛んだりすることがあり危険です。)
 - ・牛乳、乳飲料、みそ汁、スープ、生ものなど、発酵・腐敗しやすいもの(腐敗したり、異臭の原因となります。腐敗した飲み物を飲んで体調不良の原因となります。また、そのまま長く放置した場合、ガスが発生して内圧上がり、蓋が飛んだり飲み物が吹き出すなどしてケガや周りのものを汚す原因となります。)
 - ・お茶の葉や果肉等は、パッキンなどの隙間に入ると漏れの原因となります。隙間に入っていないことを確認してご使用ください。
- ② 種類に関わらず、飲み物を本製品に入れたまま長時間保管しないでください。腐敗したり、異臭の原因となります。また、そのまま長く放置した場合、ガスが発生して内圧上がり、蓋が飛んだり飲み物が吹き出すなどして、ケガや周りのものを汚す原因となります。
- ③ 真空二重構造の内部から水の音がする場合は使用しないでください。
- ④ 飲み物を本製品に入れたまま本体や蓋を温めないでください。内圧上がり、蓋が飛んだり飲み物が吹き出すなどして、ケガや周りのものを汚す原因となります。
- ⑤ 保温保冷効果が極端に低下した時は使用しないでください。
- ⑥ 熱いやかんを飲み口に触れさせないでください。
(本体が転倒してヤケドなどの危険があります。またキズや変形の原因となります。)
- ⑦ 落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。(変形したり、真空漏れになり、保温保冷効果の低下など破損の原因となります。)
- ⑧ 蓋を開けたまま放置しないでください。本体が転倒して飲み物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因となります。

⚠ 注意

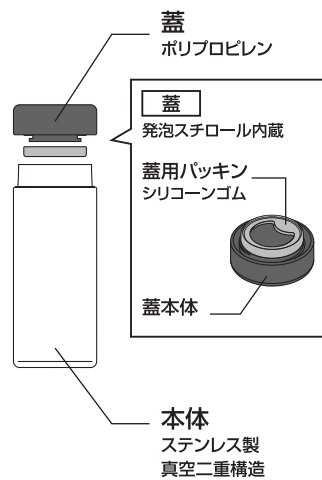
つづき

- ⓪ 電子レンジでは使用しないでください。電子レンジが故障したり、ケガや本体が変形して中身が漏れる原因となります。
- ⓪ 直射日光を避け、自動車の中など高温になる所に放置しないでください。保温保冷効果が落ちる原因となります。
- ⓪ 冷凍庫に入れないでください。飲み物が漏れたり破損する原因となります。
- ⓪ ストープやコンロ等の火のそばに近づけないでください。本体の変形や変色の原因となります。
- ⓪ 飲み物の保温、保冷以外に使用しないでください。
- ⓪ 改造・分解・修理をしないでください。破損の原因となります。
- ❶ 飲み口(350ml、500mlの場合のみ)を取り付け蓋を確実に閉めてください。
(熱い飲み物が漏れるとヤケドをする可能性があります。)
- ❶ 飲み物は早めにお召し上がりください。
- ❶ 湿気や湯気により、蓋の内側に水滴が付く場合があります。その場合は乾いたふきん等で拭き取ってください。

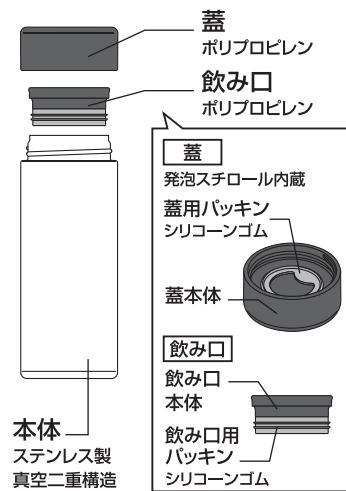
各部のなまえ

説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

200ml



350ml・500ml



使用上のお願い

- ① 熱い飲み物を入れた場合、飲む際に、ヤケドをしないようご注意ください。(断熱効果により、熱い飲み物を入れても本体外側は熱くなりません。)
- ② パソコン、デジタルカメラ、携帯電話等の精密機械と一緒に持ち運ぶのはやめてください。(万が一飲み物が漏れた場合、精密機械破損の原因となるおそれがあります。)
- ③ 本品は必ず立てた状態で置き、バッグ等に入れる際は、漏れを防ぐために本体を縦に入れてください。横に倒すと中身が漏れる原因となります。また、不安定な状態や場所での使用は避けてください。
- ④ 蓋、およびパッキンは消耗品です。使用開始後半年から1年をめやすにご確認ください。
- ⑤ 樹脂部分に線状や波状の箇所がある場合がありますが、樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。

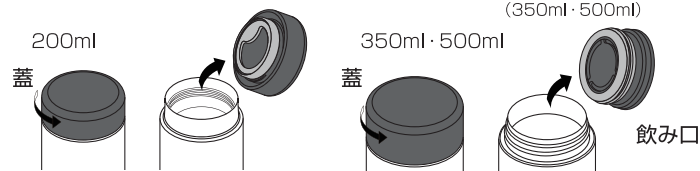
ご使用方法

ご使用前に本体内側や蓋などを
食器用中性洗剤でよく洗浄してからご使用ください。

1. 本体から蓋・飲み口(350ml・500ml)を外す

① 本体から蓋を反時計回りに回して、外す。

② 本体から飲み口を外す。
(350ml・500ml)



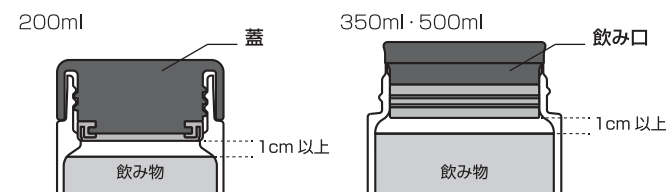
2. 飲み物を入れる

※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。

※飲み物の量は図の位置までにしてください。入れすぎると、蓋を開めるとき

飲み物があふれたり漏れたりする原因となります。

※飲み物を入れすぎた場合は、少し減らしてから、元通り蓋を開めてください。



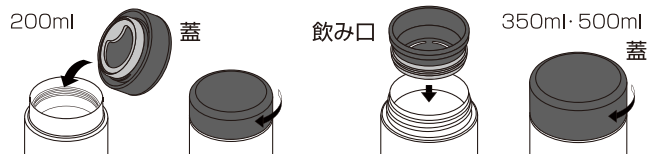
⚠ 注意 漏れ、ヤケドに注意してください。

ご使用方法

つづき

3.蓋を閉める

- ①飲み口を付ける。(350ml・500ml)
- ②蓋を時計回りに回して閉める。
※パッキンは必ずセットしてください。パッキンをセットしないと漏れる原因となります。
※蓋は確実に閉めてください。



4.飲み物を飲む

- ①本体を立てた状態で蓋を反時計回りに回して外す。
※沸騰した熱湯を入れた場合、ボトル内圧が上がり、吹き出すおそれがあります。
傾けた状態・顔を近づけた状態で蓋を開けないでください。特に沸騰させた飲み物を入れるとボトル内部の圧力が上がり、飲み物が急激に出たり、飛散したりして、ヤケドの原因となります。
- ②飲み口に口をつけてゆっくり傾けながら飲み物を飲んでください。
※急に傾けると飲み物が勢いよく出ますので注意してください。
※熱い飲み物を入れた場合、飲み口付近が熱くなっていることがあるので注意してください。(断熱効果により熱い飲み物を入れても本体外側は熱くなりません。)

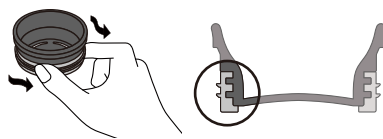
5.使い終わったら蓋を閉める

本体を立てた状態で蓋を時計回りに回して閉める。

パッキンの取り付け方

パッキンをお手入れなどで取り外した後は、次の内容を読んで正しく取り付けてください。パッキンを誤って取り付けますと、飲み物が漏れる原因となります。

飲み口のパッキン(350ml・500ml)



蓋のパッキン

(200ml・350ml・500ml)

蓋の本体に蓋のパッキンを上下の向きが正しくなるよう注意して取り付けます。



お手入れ方法

ニオイや汚れを 방지、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は早めにお手入れをしてください。

- 使用後は、すぐに洗浄・乾燥させてください。
汚れや水気を付着させたまま放置しないでください。サビが発生する原因となります。特に、スポーツ飲料など塩分を多く含んだ飲み物を入れた場合は、念入りに洗浄してください。
- 食器用中性洗剤をつけたスポンジでよく洗浄し、流水でよくすすいで水気を拭き取り、乾燥させてから保管してください。汚れや水気を付着させたまま放置しないでください。サビの原因となります。
- 本体だけでなく、蓋、パッキン、飲み口(350mlと500ml)もよく洗浄し、乾燥させてください。水だけの使用でもヌメリやカビが発生する場合があります。
- シリコンの特性上、ニオイの強い飲み物を入れるとパッキンにニオイが移ることがあります。

部品名	洗い方	お手入れ方法
蓋 ・ 飲み口 (350mlと500ml)	○ 流水洗い × 浸け置き洗い × 漂白剤	本体から、蓋・飲み口(350mlと500ml)を外し、それぞれきれいに洗浄し、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。 ※パッキンも取り外して洗浄することができます。 パッキンの間に飲食物が残っているとカビやニオイの原因となります。 お手入れの後は、パッキンを正しい位置に確実に取り付けてください。
本 体	○ 流水洗い × 浸け置き洗い × 漂白剤	きれいに洗浄し、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分乾燥させてください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 本体・蓋は煮沸しないでください。
※熱により部品が変形し、中身が漏れてヤケドやものを汚す原因となります。
- 食器洗い乾燥機は使用しないでください。
※熱により部品が変形し、中身が漏れてヤケドやものを汚す原因となります。
※水が浸入しサビが発生したり破損の原因となります。
- 蓋、および本体は水中に放置しないでください。
※蓋の内部や本体と底のすきまに水が浸入し、サビや保温・保冷不良などの原因となります。

お手入れ上の注意

つづき

- ① 鉄やアルミなどの異種金属と接触させたまま放置しないでください。
- ② シンナー・ベンジン・化学ぞうきん・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
※サビやキズなどの原因となります。
- ③ 漂白剤を使用しないでください。
※サビや腐食による破損の原因となります。
※破損により保温・保冷不良などの原因となります。
- ④ 洗浄した蓋や飲み口(350mlと500ml)に水が残らないよう数回ふり、拭き取ってください。
※残ったしずくが漏れてくることがあります。

こんなときは…

以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
本体内側が 変色した	斑点状の赤いサビが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、約30分後によく洗浄してください。
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、蓋を取り付けずに約3時間後によく洗浄してください。

長期間で使用にならないときは

よくお手入れをして汚れを落とし、十分に乾燥させて高温多湿をさけて保管してください。

品質表示

品名：ステンレス製携帯用魔法瓶			
実容量	0.2ℓ	0.37ℓ	0.53ℓ
保温効力	62℃以上(6時間)	65℃以上(6時間)	71℃以上(6時間)
保冷効力	9.5℃以下(6時間)	9℃以下(6時間)	8℃以下(6時間)
材料の種類 本体：ステンレス鋼 蓋：ポリプロピレン・ポリスチレン (発泡スチロール)			
飲み口(350ml・500ml)：ポリプロピレン パッキン：シリコーンゴム			
耐熱温度 蓋：100℃ パッキン：150℃			
耐冷温度 蓋：-20℃ パッキン：-30℃			

MADE IN CHINA

- 保温効力とは、室温 20℃±2℃において製品に沸騰水を飲み口下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が 95℃±1℃の時から 6 時間放置した場合におけるその湯の温度です。
- 保冷効力とは、室温 20℃±2℃において製品に冷水を飲み口下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が 4℃±1℃の時から 6 時間放置した場合におけるその水の温度です。

株式会社

良品計画

WWW.muji.com

〒170-8424 東京都豊島区東池袋 4-26-3

お客様相談室でんわ 0120-14-6404

BA-05